

ぐんまの防災・心構え 南部町地震防災訓練

9月3日(日)「南部町地震防災訓練」が町内全域で実施されました。

各自主防災会ごとに、安否確認訓練、避難所運営訓練、資機材点検訓練等が行われました。内船上区、陵草区、天王区では、峡南広域行政組合消防本部中部消防署南分署による心肺蘇生法及びAED訓練、並びにNPO法人山梨県地震対策四駆隊による緊急物資搬送訓練等の実践的な訓練が実施されまし

た。また、陵草区では山梨県立防災安全センターから起震車を手配していただき、地震の揺れを体験しました。訓練を積み重ねることで、地域防災力の向上を図り、「自助」・「共助」・「公助」への理解を深めることができます。一人ひとりの防災意識の向上と、災害時の応急対応が速やかに行えるよう、日頃から防災・減災体制を整えましょう。



四駆隊による緊急物資輸送訓練



教育長・消防団長
交通防災課長の訓練視察



起震車による地震体験



消火訓練！



放水開始！



AED・心肺蘇生法訓練

保育所の新規入所申込について

来年4月から保育所へお子様の入所を希望する保護者の方に申込書を配布します。

◆配布期間

令和5年10月11日(水)～31日(水) 午前8時30分～午後5時 ※土日を除く

◆配布場所

南部町役場子育て支援課(分庁舎1階)

◆入所説明会

栄・富河保育所 11月16日(木) 午後1時30分 分庁舎2階 会議室

◆提出期限・提出先

※町立保育所以外に入所を希望する方は、直接その施設へお問合せ願います。

◆提出期限・提出先

令和5年11月30日(水) 子育て支援課 まで

◆入所説明会でも受付可

◆対象者

・南部町に住所がある就学前の児童

・下記の条件を満たし、保育の必要性が認められる場合

◆保育の必要性の基準

保育所に入所できる児童は、その保護者が次のいずれかに該当する場合があります。

- ・就労している場合
- ・求職活動をしている場合
- ・妊娠中や出産後間もない場合
- ・病気や怪我、心身に障害がある場合
- ・家族を常に介護・看護する必要がある場合
- ・地震や火災などの災害復旧に当たっている場合
- ・就学をしている場合
- ・虐待やDVの恐れがある場合
- ・育児休暇取得中で既に保育を利用している子がいて継続利用が必要な場合
- ・その他、町長が認めるもの

◆保育料について

3歳以上児令和3年4月1日以前に生まれた子は保育料無償(給食費は有償)

3歳未満児は保育料無償化(※)の対象ではありませんが、本町独自の子育て支援策『就園児童支援金』により支払い済みの保育料5割分が助成されます。

※保護者の所得や第2子等の条件により、保育料が免除になる場合があります。

お問合せ 子育て支援課

☎64-48330



万沢小学校 利活用についての

お知らせ

役場企画課



～万沢小学校 閉校までの歩み～

月 日	できごと
明治 6年(1873年)	広福寺で開校
明治 15年(1882年)	現在地に校舎を新築
大正 2年(1913年)	校舎の新築と校地の拡張
昭和 16年(1941年)	万沢国民学校と改称
昭和 22年(1947年)	万沢小学校と改称
昭和 39年(1964年)	校舎 落成(～平成5年まで)
昭和 44年(1969年)	陵草小学校と万沢小学校を統合
昭和 47年(1972年)	万沢小学校体育館 落成
昭和 49年(1974年)	創立100周年記念祝典を挙行
昭和 57年(1982年)	第1回「ひいらぎ祭」を開催
平成 6年(1994年)	新校舎 落成
平成 20年(2008年)	ヒイラギモクセイ記念碑設置
令和 2年(2020年)	南部町立万沢小学校 閉校

～万沢小学校 閉校から現在までの経過～

令和3年	11月	利活用に関するアンケート実施
令和4年	10月	万沢小学校活用事業公募開始
	12月	公募期間終了(提出1者)
令和5年	1月	プロジェクト会議にて有効案決定
	2月	万沢地区説明会開催
	5月	南部町議会への事業者説明会開催
	8月	南部町議会への契約内容等の説明 事業者決定・貸付についての仮契約
	9月	南部町議会定例会にて承認 貸付についての正式契約
	10月	事業者への施設引き渡し(予定)

地域に愛された万沢小学校を「集学校」として利活用！

万沢小学校は、明治6年に万沢を学校附属村として万沢尋常高等小学校が開校してから146年間、多くの子どもたちを見守ってきました。(「山梨県史」「富沢町誌」より)

開校以来、教育の場であるとともに地域コミュニティ活動や防災における重要な拠点として運営してきましたが、児童数が徐々に減少し、令和2年3月末に閉校。同年4月より、隣接地域の富河小学校とともに富沢小学校に統合されました。

町では、万沢小学校について地域の住民の皆様の関心度や、今後の利活用の可能性などを把握するため、令和3年11月に「万沢小学校の利活用に関するアンケート調査」を実施し、様々なご意見と活用にあたっての課題等を把握することができました。

この住民アンケートの結果を踏まえ、令和4年10月には、民間事業者の持つ資本金・企画力・ノウハウ等を活かし、周辺環境との調和、地域コミュニティ活動、地域活性化に配慮しつつ、地域の賑わいの創出が可能となるような、次世代を見据えた施設活用事業を公募したところ、東京に本社を置くIT関連企業「一般社団法人おかえり集学校(リングロー株式会社)」一者から、企画書の提出を受けました。

その後、庁内の公共施設に関するプロジェクト会議において検討を重ね、町ではこの企画を「有効案」と選定し、今年2月に地区説明会を開催しました。

そして、住民の皆様からの意見聴取及び南部町議会議員の皆様への説明を経て、「一般社団法人おかえり集学校(リングロー株式会社)」を万沢小学校利活用実施事業者として正式に決定し、本年9月議会において承認を受け、9月22日付けで本契約が締結されました。

今後、10月中に施設の引き渡しを行い、来春には本格的に事業開始となる予定です。万沢小学校改め、ITを軸に皆が学び集う場所「万沢集学校」の今後にご注目ください。

「一般社団法人おかえり集学校(リングロー株式会社)」と、「おかえり集学校プロジェクト」の詳細については、こちらから！是非、一度ご覧ください！

Ringrow

おかえり集学校



おかえり集学校プロジェクト



各地の集学校(現在17校)の様子や、平成29年～令和元年までの「2年間のあゆみ」等を見ることができます。

スマホで!

QRコードの読み取り方

スマホのカメラを起動してQRコードを画面に表示し、その画面をタップしてください!



予防接種費用助成のお知らせ

本年度のインフルエンザ等の予防接種の助成事業の概要は以下のとおりです。接種を希望される方は、必ずかかりつけ医に相談して接種を受けるようにしてください。

接種費用助成対象者

対象者	助成内容、助成額	町からの通知	助成方法等
15歳以下の方 (中学生以下)	任意予防接種（インフルエンザ、おたふく、B型肝炎）のうち、1回につき2,000円、年度内2回まで助成。同一ワクチン可能	本人宛の通知はありません	接種費用を全額窓口で支払い、領収書等と共に町へ申請をしてください※ ¹ 。
65歳以上の方※ ²	インフルエンザ 2,000円	対象となる方に通知しました。	接種費用と助成額の差額を医療機関窓口※ ³ でお支払いください。
65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳の※ ⁴	肺炎球菌 4,000円	4月初旬、対象となる方に通知しました。	接種費用と助成額の差額を医療機関窓口※ ³ でお支払いください。
60歳以上65歳未満の 特定疾患を有する※ ⁵	インフルエンザ 2,000円 肺炎球菌 4,000円	本人宛の通知は、ありません。	「予診票」等をお渡ししますので、福祉保健課までご相談ください。

※¹ 15歳（中学生）以下の方は「任意予防接種費用助成」の手続きとなります。窓口で支払いをした後、次のものをご持参のうえ福祉保健課へ申請・請求してください。（申請様式はホームページ上でも確認できます。）

- ◆ 当該ワクチンを接種したことがわかる領収書等（原本）
- ◆ 印鑑および振込先口座情報のわかるもの

※² 令和5年12月20日までに65歳に達する方で、接種日当日に65歳以上の方

※³ 高齢者のインフルエンザおよび肺炎球菌は予防接種法に位置づけられているため、町で委託契約している指定医療機関以外での接種および期間外の接種は原則として認められず、費用助成の対象となりません

※⁴ 本年度の高齢者肺炎球菌対象者は、令和6年4月1日現在で65歳から5歳刻みの年齢の方で、過去に接種したことのない方（該当者には、4月初旬に通知をしています）

※⁵ 特定疾患とは、心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方及び、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活が極端に制限される程度の障害を有する方

町内接種医療機関

接種を希望される方は、前もって医療機関に相談・予約をしてください。

南部診療所	☎64-3117	佐野医院	☎64-2037
富河医院	☎66-2009	万沢診療所	☎67-1030

接種費用助成期間

15歳以下の任意予防接種助成 令和6年3月31日までに申請してください。

高齢者インフルエンザ 令和5年10月1日～令和5年12月20日

高齢者肺炎球菌 令和5年4月1日～令和6年3月31日

お問合せ 福祉保健課健康増進係 ☎64-4836

【美術館 企画展のお知らせ】

YUMEJI

竹久夢二展

TAKEHISA

巡り合う大正ロマンの世界

2023 11/1 (水) ~11/30(木)

【展示内容】

南部町立美術館では、11月1日（水）から11月30日（木）まで『竹久夢二展』を開催します。画家、詩人である竹久夢二（明治17年～昭和9年）が、最も活躍したのは大正時代の15年間。独学で自らの技法や作風を磨き、自由な発想から生み出し描いた数々の作品は、現在でも大正ロマンを代表する作品として知られています。今回の企画展では、夢二についての解説から、コマ絵、夢二式美人画や木版画など夢二の手掛けた幅広い画業に光を当てています。ぜひ、この機会に真の夢二像をご堪能ください。



・セノオ楽譜・蘭燈



・婦人グラフ9月号表紙・秋



・婦人グラフ10月号表紙・化粧の女



・少女画報4月号
花のたよりの文つかひ

- ◆夢二展ならではの素敵なグッズも販売いたします。ご近所お誘いあわせご来場ください。
- ◆入場料・大人300円/子ども200円
- ◆開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）

お問合せ アルカディア文化館 ☎62-9292